

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

キッズボンド安八

調査期間：令和6年1月～令和6年2月

回答職員数：7名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	児童発達支援を利用している児童は一人のため、午後からの児童が来るまでの間はゆったりしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1	職員の確保が課題。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		文字、絵による表示を行っている（ロッカーやホワイトボード、おもちゃ箱）。識字が困難な児童には本人の名前の代わりに認識可能なイラストを使用している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		ついでに、カーテン、のれん、机上の間仕切りなど可動式の仕切りを使用して視覚情報の整理と個別の空間の確保を行っている。事業所内の清掃、備品の消毒、換気児童通所時の手洗いを日課としている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7		朝の打ち合わせの際に、新規対応方法の周知及び検証を行い、次の手立てを共有している。決定事項に関しては、全職員に伝えて対応の統一を図っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		評価表に限らず普段から保護者からの意見を受け入れ、支援に反映させている。例：活動予定表の表記事項の見直し、LINEによる活動内容の詳細の予告。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		ホームページ上で行っている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		7	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		正職員は、毎月実地およびオンラインによる社内の研修を受けている。他の職員にも研修記録や資料を用いて周知している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		保護者との面談、相談支援事業所からの情報などを把握して行っている。その上でASISTによる評価を行い、個別支援計画書に反映させている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		上記のASISTが該当。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		設問にある項目は個別支援計画書に明記されている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		計画書の内容を職員間で共有し、支援するようにしているが、より浸透させる余地があると認識している。

	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		各活動担当者が立案した内容を皆で検討して行うようにしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		毎月新しい活動を導入するようにしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7		子どもの特性や状況を計画書の作成の際に反映させている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		毎日打ち合わせを行い、その日の支援の留意点を共有している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		支援終了後に検討が必要な事例の有無を確認し、共有している。場合によっては翌朝のミーティングで更に掘り下げて対応方法を検討している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		記録は必ず行っており、必要と思われる情報はご家族や相談支援事業所と共有を行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		モニタリングを随時行って個別支援計画書を作成している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		担当者会議がある際は児童発達支援管理責任者が出席している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		直接・間接的に情報を入手、発信している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	2	現在、医療的ケアが必要な児童は在籍していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	1	”
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		随時行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		ご家族や通して情報を得ることが多い。今後は必要に応じて学校と直接的な連携を図りたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		西濃地域ケース検討会の医療専門家による研修に児童発達支援管理責任者が出席し、その内容を職員間に周知している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	2	NPO 法人が運営する駄菓子屋を利用する際に、地域の子どもたちと教室の児童と一緒に遊ぶ機会がある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7		安八町の地域自立支援部会に児童発達管理責任者が出席している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	7		LINE、連絡帳、電話、対面を通じてこまめに連絡を取り合い共通理解を培っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7		面談の際や電話等でやり取りする際に、困りごとに対する相談の受け付けや助言を行っている。対応内容の質の向上を常に心がけている。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		利用開始時の面談時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		利用開始時、以後は年に2回行っている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		年に2回の面談の際に相談があれば応じている。（その他随時、LINE、電話等で相談支援を行っている）
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		7	家族会の開催はこれから取り組んでいきたいと考えている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		本部に報告し、随時対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		活動予定表、通信を毎月の発行し、インスタグラムで活動の画像を随時アップしている。保護者との連絡に関してはLINE、電話、送迎時に対面で行っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		個人的な情報は文字、画像共に制限を設けて扱っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		子どもとのやり取りでは、伝わりやすい言葉を使うよう心がけ、必要に応じて書いた文字、写真、イラストを使用して意志の伝達を図っている。保護者とのやり取りでは、読み返して確認できるようLINEによる連絡を心がけるようにしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	今後の課題と捉えている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		緊急時対応の訓練は子どもたちをまじえ活動の一環として毎月行っている。各マニュアルの保護者への周知は着手すべき事項と考えている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		毎月行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		利用時の面談の際に確認しているが、定期的な面談時にも再確認していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7		現在医師から指示書が提出されている児童は在籍していないが、提出された場合は対応していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		随時書類を作成し、職員間で情報共有を図り、PDCA サイクルに組み込んでいる。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		社員研修の受講、虐待防止チェックの実行を行っている。当教室では、特に子どもへの言葉づかい、呼び方に関して留意するよう職員に周知している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		社内で統一された身体拘束に関する書類を用いて面談時に説明し、了承を得ている。